

## 第1回教育委員会広聴事業について

### 1 概要

教育委員会広聴事業は、教育長と教育委員が、児童生徒・保護者及び教職員などの皆様と直接対話による意見交換を行うことで、より実情に沿った政策立案をしていくために実施している。令和6年度(2024年度)第1回は、フレンドリーオンライン及び小中一貫教育をテーマに7月11日(木)に芳野中学校を視察し、生徒及び教職員と意見交換を行った。



### 2 生徒との意見交換内容

A と B の 2 グループに分かれて意見交換を実施（事前質問については両方のグループで意見交換し、当日の意見・質問については一方のグループでのみ意見交換を実施。）

(1) 小学生との交流授業、異学年での交流について	
意見・質問	回答
小学生との交流授業や、異学年での交流にどのような感想・印象を持っているか。また、どれくらい充実していると感じているか。(西山委員、苫野委員)	<p>交流授業や、異学年での交流はとても楽しいと思った。理由は、やり方などを教えたら相手が解けるようになる嬉しさや、あまり機会のない小学生との交流だったからである。(Aグループ生徒)</p> <p>教えるのが苦手な人がいるから、あまり楽しめない人もいるという点は課題だと思う。(Aグループ生徒)</p> <p>先輩先生の交流で行ったときに小学校4年生の算数で、自分では分かるんだけど、それを小学生に</p>

	<p>分かるような言葉で説明するというのが難しかった。それから、小学生がすらすらと問題を解いてしまっていて教えることがなかったときは行った意味があるのかなと思ってしまった。(Aグループ生徒)</p> <p>小学生のときに中学2年生から教わったことがあって、先生よりも質問しやすく感じた。また、説明も分かりやすかった。(Aグループ生徒)</p> <p>普段小学生に教えないから、教えることの難しさを感じた。(Bグループ生徒)</p>
<p>小学生に教えることの難しさを感じた具体的な内容を教えてほしい。(小屋松委員)</p>	<p>頭で理解できていても、小学生に分かるように説明しないといけないこと、どう教えるかという部分で苦戦した。自分の体験で、数学の授業でやり直すと分かりやすかったので、そういうやり方がいいのではと伝えた。(Bグループ生徒)</p>
<p>小学生に教えたときに、どんな中学生になってほしいと思ったか。(村田委員)</p>	<p>分かりやすく、やさしく接してもらえたらいいと思う。(Bグループ生徒)</p>
<p>交流授業を経験して、自分の中に何か変化はあったか。(小屋松委員)</p>	<p>人に教えることの難しさを感じたが、小学生に分かりやすく伝えるために、事前にまとめたり、工夫したりする必要があるので、自分自身の理解力が高まったように感じた。(Aグループ生徒)</p>
<p>地域学習「芳野学」での、小中合同や異学年合同での学び合いはどれくらい充実していると感じているか。(苫野委員)</p>	<p>小中合同や異学年合同の学び合いは、交流がたくさんあるし、中学生は予定が多く忙しいので、これ以上増えると小学生に合わせるができないかもしれない。これ以上増やさなくても充実していると感じている。(Aグループ生徒)</p> <p>芳野学の学び合いの内容は充実しているが、小中合同や異学年合同での回数が少ないと思う。(Bグループ生徒)</p>
<p>地域学習「芳野学」だけでなく、国語や数学(算数)、理科、体育、道徳など、教科の学びでも、小中合同や異学年合同で学び合いをやってみたいと思うか。(苫野委員)</p>	<p>2教科あり、一つ目は国語で百人一首をやってみたい。理由は、小中合同や異学年合同で学習の差があっても、百人一首を覚えたら反射神経などでカバーできて交流できると思ったからである。二つ目は体育。スポーツだと小学生と中学生で力の差があり</p>

	<p>すぎて面白くないと思うので、大縄だったら小学生でも自分のペースでできるのかなと思った。(Aグループ生徒)</p> <p>小中合同や異学年合同での学び合いはもっとしたい。国語で小中合同百人一首などできればいいと思う。小学校行事の俳句ウォークラリーを小中合同でするのもいいと思う。(Bグループ生徒)</p>
<p>小学生や異学年での交流はもっとあった方がいいと思うか。それとも増やさない方がよいか。(苫野委員)</p>	<p>異学年での学び合いは楽しいので、もっと増やしてもいいと思う。この間はテスト勉強をいっしょにやっ、それぞれ勉強する途中で1年生の分からないところを3年生に聞いたりできて、お互いに楽しく過ごせた。(Aグループ生徒)</p> <p>これ以上増えると負担が増えて楽しめなくなる。学年が違くと気を使うし、以前も、交流のための準備や話し合いに時間がかかり、みんなの意見を時間をかけて聞いてようやくできた。(Aグループ生徒)</p>
<p>もし、交流が日常的に当たり前のように、大変な準備をしなくてもいいような、週に何回かは当たり前のように近くに小学生もいて、気付いたら勉強を教え合っていたという交流や学び合いがあったとしたらどうか。(苫野委員)</p>	<p>それならば受験生も学習を深められるかもしれない。(Aグループ生徒)</p>
<p>小学生に話すときに工夫している点はどんなところか。(教育長)</p>	<p>熟語や用語を分かりやすく伝えるようにしている。例えば、外での行事のときに中学生だけなら「水分補給」でもいいけど、小学校低学年には伝わらなかったの、「水飲んでね」と簡単な言葉にしている。(Aグループ生徒)</p> <p>自分自身が小学生のときも、分かるように言ってくれているなど感じるがあった。(Aグループ生徒)</p>
<p>小学校と中学校の距離は近いけど離れている。建物が別で小学生と距離を感じることはあるか。一緒の方がいいのか。(教育長)</p>	<p>距離は感じないし不便とも思わない。でも、先輩先生の交流のときは小学校に行くけど、普段からよく行くということはない。(Aグループ生徒)</p>

<p>小学校のときから9年間同じ友達関係で関係性が固定されたりすることもあると思うが、異学年との交流で幅を広げたいと感じるか。それとも、幅を広げたくないと思うか。(苫野委員)</p>	<p>自分のクラスだけでなく、いろんな学年やほかの中学校とも交流したいと思う。でもみんなが同じ考えではないと思うので、何とも言えない。(Aグループ生徒)</p>
---	--

(2) 合同行事、合同登校について	
意見・質問	回答
<p>運動会などの合同行事を経験しての感想や自分のリーダーシップのあり方はどうだったか。(小屋松委員)</p>	<p>小学1年生から中学3年生までの合同になるので、小学1年生にも分かる簡単で分かりやすい表現での確に指示や伝えたいことを話すのが難しかった。一人に任せきりにせず、周りのみんなで指示を出したり伝えたりして工夫した。(Aグループ生徒)</p> <p>運動会の団長をしたが小学校にも団長がいるので役割分担が難しかった。合同ですること先生の大変さを感じた。(Bグループ生徒)</p>
<p>運動会の中学校と小学校の団長の話が出たが、どのようにまとめたのか。(小屋松委員)</p>	<p>合同での練習のときに話をしたりした。交流できる機会がもっとあればよいと思う。(Bグループ生徒)</p>
<p>合同登校の際は、どんなことに気を配っているか。(小屋松委員)</p>	<p>小学生と中学生では歩く速さも違うので、いつもより遅めに歩いて速さを配慮したり、休憩を入れたり、坂道も多いので気を付けて登校している。芳野は道が細い割には車の交通量が多いので、車が来たことを中学生が全体に伝えて安全に登校できるようにしている。(Aグループ生徒)</p> <p>小学生と中学生では体の大きさが違うので、小学生に合わせるようにしている。共通の話題がないので、会話が難しい。(Bグループ生徒)</p>
<p>小中学校で一緒に創り上げるような行事やイベントなどはあるのか。(澤委員)</p>	<p>運動会くらいかなと思う。文化祭は中学校ではやっていなくて、人数が少ないから大きなことはできないと思う。(Aグループ生徒)</p>

(3) 地域学習「芳野学」について	
意見・質問	回答
「芳野学」について、どのような感想を持っているか。(西山委員)	<p>芳野校区について詳しく知ることができてうれしい。学習する中で、芳野のことを知ってもらえるようもっと発信したいと思う。(Aグループ生徒)</p> <p>芳野学は地域のことを知ることができ、おもしろくていいと思う。地域との交流が少ないので、地域の運動会などに参加して交流を増やしていきたい。(Bグループ生徒)</p>
地域の方の触れ合いや行事が少ないとのことだが、どうしたら増えると思うか。(村田委員)	<p>行事や地域の運動会などで理解を深めればいいと思う。(Bグループ生徒)</p>
理科の地層の勉強で、芳野層を見学したということですが、芳野層があることでそこが昔、湖だったと分かるのはなぜか。(西山委員)	<p>地層が形成されるのは地上ではなく海や湖でできると見学に行ったときに先生から教えてもらった。(Aグループ生徒)</p> <p>小学6年生のときに行ったのでよく覚えていないが、たしか湖などの淡水の化石があったからという理由だったと思う。(Bグループ生徒)</p>
芳野では葉っぱの化石が出たので湖だったことが分かる。なぜこのような質問をしたかという、地層に限らず勉強したときに、教えられるだけでなく、なぜという疑問を持ってほしい、そしてその疑問を実際のものを見て解決してほしいということを伝えたかった。(西山委員)	
芳野の発信のことについて、詳しく聞きたい。(澤委員)	<p>実際のインスタグラムを見ながら説明。フォロワーは120人くらいで、芳野中学校に来たことのあるほかの学校や先輩がフォローしてくれたり、コメントしたりしてくれたりとかするとうれしい。運動会などの行事や郷土料理紹介、日常のこと、芳野あるあるの紹介など配信していて、この間はプール掃除を配信した。顔が映るときはお面をしたり、著作権は大丈夫か確認したり、先生にも確認したりしながら作っている。クラスに12人いるから、1か月</p>

	ごとに一人ずつ担当を決めてやっているの、一人で作る責任を感じることもある。(Aグループ生徒)
インスタグラムの動画だったら勉強とは違って一緒にできるかもしれない。小学校と中学校で一緒にこんなことをやっているとか、芳野の良さなどを発信できたらいいと思った。(澤委員)	

(4) その他	
意見・質問	回答
タブレットが導入され、便利になった反面、大変になったと感じることはあるか。(村田委員)	<p>充電をし忘れると授業に支障が出たりする。(Bグループ生徒)</p> <p>宿題の内容が、動画を撮って提出しなければならないときは、大変というか苦手である。(Bグループ生徒)</p> <p>生徒会での利用で、情報収集、アンケートなどがタブレットでできるので便利になった。でも、紙も大事と思うでのバランスが大事と感じる。(Bグループ生徒)</p> <p>便利な面が大きい、タブレットでしかできない宿題も増えてやりにくいと思うときもある。(Bグループ生徒)</p> <p>漢字変換をタブレットでするようになり、漢字を覚えにくくなった。家では辞書を引くが、学校では図書室まで遠いのでタブレットで済ませるようになった。(Bグループ生徒)</p>
校区が広いため、孤立を感じるとか、他校との交流や文化的なものに触れたいというような希望や不満などがあれば教えてほしい。(西山委員)	<p>週末に図書館で集中して勉強したいと思っても、近くにないので、そのような施設があればいいと思う。自分一人で中心市街地に行くにはバスしか手段がなく時間がかかるので、親と一緒にないとなかなか行けない。(Bグループ生徒)</p> <p>自宅は山の中で孤立していて平日は自転車通学もできない。長期休暇の部活のときしか自転車を使用できないルールになっている。(Bグループ生徒)</p>

部活動はできているか。(西山委員)	部活動は6時頃までやっている。通学時間が行きは途中まで親に送迎してもらうので30分だが、帰りは徒歩で50分かかる。部活の時間が短くてもっとやりたいが、冬は早く暗くなるので、帰る時間が遅くなると親が心配する。(Bグループ生徒)
道路が狭くて路側帯がなく心配になったが、安全面はどうか。(小屋松委員)	道が狭く、大型トラックと普通車が並んだときに歩行者の自分たちがいると本当に危ないと感じる。(Bグループ生徒)

(5) グループ代表による感想発表	
<p>Aグループでは、Instagramでの芳野の魅力発信のことで盛り上がった。今は月に一人で発信を担当しているが、小学生と合同でという別の考えというか、新しい意見があったので、そういう交流もいいのかなと思った。(Aグループ生徒)</p> <p>Bグループでは、地域の人たちとの交流や、小中学校合同ですることなどについて話した。私たちが当たり前と思っている行事やタブレットの使用法などを改めて振り返ると、新しい気付きがありとても楽しかった。(Bグループ生徒)</p>	

### 3 教職員との意見交換内容

(1) 中学校からの乗り入れ授業について	
意見・質問	回答
<p>小学生の反応はどうか。理解してくれているという手応えはあるか。(小屋松委員)</p>	<p>小学校5・6年生の音楽の授業をしているが、これまで中学校での経験しかなく小学校の様子は分からなかった。歌い方や楽器の演奏の仕方などを指導しており、中学1年生と同様に発声法を指導すると理解してくれ、歌い方も演奏の仕方も指導を重ねると変わってくることを実感している。小学5年生で変声期が始まって苦労している児童もいるので、少し専門的な部分も交えながら歌えない不安をなくしたり歌い方について話したりしている。(教諭)</p> <p>英語の授業をしており、今は隔週1回または月1回行っている。赴任した頃は、週に1回小学5・6年生の授業をしていて、5学年分を一人するのは正直大変だった。ただでさえ中学校に英語教員が一人で負担がある上に小学校までだったので、かなり負担が大きかった。今は小学校からの英語教育の流れが分かり勉強にはなったと思う。回数は限られて</p>

	<p>いるが、こどもたちも行ったときには非常にいい反応を返してくれる。小学校に行くことでこどもたちを知ることができるので、中学校でも同じ環境で授業ができ中1ギャップを減らすことにもつながっていると思う。(教諭)</p> <p>小中連携の取組で2点。赴任5年目だが、当初は小学校も中学校も数学があまり良くなかった。中学生に自信を持たせたいということで始めたのが先輩先生の交流で、身近な隣の中学校の生徒に教わるというのが小学生に好評で、今も続いている。また、芳野中は3年続けてKEWに参加していて、逃走中をしたいという生徒からの意見が出たり、芳野小中で一緒に歌える歌がないので、歌を作りたいという意見があったりした。歌作りではこどもたちが歌詞を作り、曲作りは保護者の方や当校にコンサートに来られた高校吹奏楽部顧問の方の紹介などにより進み、来年の運動会で歌の発表予定である。(教頭)</p>
<p>中1ギャップの話があったが、芳野のような小規模でみんな顔見知りみたいな学校でも中1ギャップはあるのか。(教育長)</p>	<p>小中学校も近いし、兄弟もいる子もいて、そんなことはないと思っていたが、生徒のアンケートの結果を見て驚いた。中学校の先生の声大きいというようなことが書かれており、中学校の先生に対するギャップがあるようだ。(校長)</p> <p>中学校は怖いというイメージがあるようだ。しかし、中学生になるからしっかりしなきゃという気持ちの方が大きいようだ。(教諭)</p>
<p>小中一貫で乗り入れ授業もあるから大変という負担感の話が出たが、困り感や、あるいは解決のアイデアなどがあれば聞きたい。(苫野委員)</p>	<p>職員は少ないけどやることは多いので、職員側も大変だと思う。私は、河内中にも兼務で行っていて、フレンドリーオンラインの授業もある。生徒たちに何か頼もうにも、他校と違い人数が少ないため割り振りができない。生徒たちは根が真面目なので、かなり時間を費やして計画を立てる。一つのことをするのに、大きい学校のようにはいかず、やりたいことはあるが、やっていくと負担で心がいっぱいになるようだ。(教諭)</p> <p>乗り入れ授業の小学校との打合せも時間がかかるので、互いの時間の確保が難しく課題である。今は放課後にしているが、業務時間内に終われるよう</p>

	になったらいいと思う。(教諭)
--	-----------------

(2)「芳野学」における地域学習について	
意見・質問	回答
地域学習の成果を地域の方へ発表するなどの機会はあるのか。(小屋松委員)	昨年度この学校に赴任して感動したのが、今の高校1年生が当時中学3年生で、総合の時間に発表を小学生にしていた。先輩から後輩への橋渡しじゃないけど、学習してきたという姿を見せることができる場が設けられていたというのは、すごくいいことだなと感動した。それもあり、今年度は11月頃に他学年の総合学習の内容を発表で共有し、保護者にも授業参観で見えていただく計画である。また、昨年度の1年生は芳野の良さを知る前に熊本の良さを知ること、まず熊本旅行を他県や外国の人に紹介するならというテーマで熊本城や博物館、城彩苑に行き学習し、その上で、今度は芳野旅行を計画するならと歴史的な場所などを調べたりして、1月の芳野コミセン祭りでプレゼンして地域の方に紹介した。地元の方も知らないような新たな発見もあって感動されていた。(教諭)

(3)フレンドリーオンラインについて	
意見・質問	回答
オンライン授業での掛け合いがおもしろく、教え方を工夫されていてすばらしかった。(西山委員)	
芳野中の生徒たちはフレンドリーオンラインの生徒たちをどう見ているのか。関わりがあったりするのか。(澤委員)	フレンドリーオンラインの生徒の編み物や料理の作品を家庭科室前に掲示し、芳野中の生徒に見てもらっている。また、体育を月に1回しているが、芳野中の運動会の動画を見せてもらったら、その後、「自分の学校の体育大会を見に行けばよかった」「頑張っている姿はいいなと思ったので、来年はどうにか参加したい」という感想を書いてくれた生徒もいた。(教諭)  こどもたちは学校に行きたい、勉強したいと思っている子が多い。こどもたちの交流はないが、学期

	<p>に何回かは芳野中の先生方に授業を教えてもらうこともあり、先生との交流でカバーしている状況である。(教諭)</p> <p>フレンドリーオンラインが始まった当初は、芳野中の生徒と一緒にという構想もあったようだが、なかなか難しく実現していない。しかし、過去に5人は転校で芳野中に来ている。(教頭)</p>
<p>例えば大学生など、日常的に外部が関わるようなことはあるのか。 (苫野委員)</p>	<p>昨年度ユア・フレンドの方が参加くださり、オンラインで入ったら、生徒たちの反応が良く、いいねのリアクションが多かった。教員志望の方に関わっていただく意義は大きいと感じた。(校長)</p>

(4) その他	
意見・質問	回答
<p>校内見学で数学の授業を拝見し、生徒さんの発表もすばらしく、先生の教え方も良かった。先ほどの生徒さんとの意見交換で、何のために数学を勉強するのかという質問に回答が出なかったので、動機付けが大事だと感じた。(西山委員)</p>	
<p>保護者とのつながりについて、おそらくほかの学校よりもコミュニティが密だと思うが、保護者対応で大変なことはあるのか。(村田委員)</p>	<p>兄弟の多い家庭が多く、保護者は学校をよく理解していただいている。(校長)</p>
<p>生徒たちは高校に進学するときこれまでと環境が変わり不安があると聞く。課題になっているのか。(澤委員)</p>	<p>9年間人数の少ない環境の中から、いきなり大人数の高校に進学するので、人が多いという声はよく聞いている。(校長)</p>
<p>感想等の発言</p>	<p>小中一貫教育だからこそ、今までうまくいかないと感じている部分をほかの先生方と話し合いながら改善できたらと思った。(教諭)</p> <p>芳野中の生徒は、純朴で素直すぎて今日みたいな環境には緊張してしまう。このコミュニティしか知</p>

	<p>らず、社会性という点でインスタグラムも始めたりした。やりたいことを実現させてくれる先生と生徒に言ってもらえるのがうれしい。文化祭などもしたいが、授業時数の問題もあり時間の確保が難しい。芳野中でしかできない経験をたくさん積ませてあげたい。(教諭)</p>
--	---